

令和 5 年 2 月の市民の声（全 5 通のうち 4 通）

◇市役所女性職員に対する消防団加入促進について

【ご意見・ご提案など】

消防団員の人手(なり手)不足が問題なっています。一方で、全国的に女性消防団員数は年々増加しています。

消防団本部付けの採用とされたり、各地域を管轄する分団に所属したり、女性のみで組織する分団に所属したり、その活躍の形態はさまざまです。そこで、以下の質問をします。

- (1)各分団・部における人手不足の実態を把握しているか。
- (2)南魚沼市の女性消防団員を各分団・部の人手不足解消の一助にすることはできないのか。
- (3)市役所女性職員で消防団に所属しているのは何名か。
- (4)各分団・部の人手不足の解消のため、全体の奉仕者として、市役所女性職員に対する消防団加入促進をすべきではないか。

(令和 5 年 2 月 9 日)

【お返事】

- (1)各分団・部における人手不足の実態を把握しているか。

人員は消防団員が把握しており、人員確保に苦慮している部は分団本部や方面隊本部に相談して部の合併などにより対応しています。

- (2)南魚沼市の女性消防団員を各分団・部の人手不足解消の一助にすることはできないのか。

部に在籍し、活動している女性消防団員もいます。女性消防隊は幼児防災、救急講習、高齢者への防火啓発や各種イベントに参加することで、部に所属している団員の参加が難しい活動の助けになる活躍をしています。

- (3)市役所女性職員で消防団に所属しているのは何名か。

常勤、非常勤を含め 3 名、市議会議員 1 名です。

- (4)各分団・部の人手不足の解消のため、全体の奉仕者として、市役所女性職員に対する消防団加入促進をすべきではないか。

職業や年齢、性別を問わず随時募集しており、今後も加入促進に継続して取り組みます。

◇ 消防団員の定員について

【ご意見・ご提案など】

消防団員の人手（なり手）不足が問題になっています。各部では、新入団員を1人見つけなければ退団者を出せない状況となっています。しかし、各部において、最低何人の団員を確保しておかなければならないのか把握していません。ついては、以下の質問をします。

(1) 消防団員の定員の算定根拠を教えてください。

※内規に定められていると過去の市民の声で回答がありましたが、具体的に公表してください。

(2) 各部の最低限確保すべき団員数を教えてください。

※部ごとに何人必要なのか、具体的に公表してください。

(令和5年2月9日)

【お返事】

(1) 消防団員の定員の算定根拠を教えてください。

各部の構成は部長1名、班長(副部長)1名、機械班長はポンプ1台につき1名、ポンプ操作員として4名(ポンプ車は、1台につき5名)、警防要員3名、補正人員として地域の実情により増減することができるとしてあります。

(2) 各部の最低限確保すべき団員数を教えてください。

南魚沼市消防団の運営に関する内部規定に基づき各部で確保しており、内部規定で決められている人員数は目安です、補正人員にもあるように地域の実情に合わせて増減できますので、具体的に何人と決めることができません。

(担当：南魚沼市消防本部)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇宿泊施設・レンタルショップの連携について

【ご意見・ご提案など】

新幹線駅からスキー場までの距離が近く、南魚沼市はどこで食事をしても美味しく、どこの宿泊施設に泊まっても親切にご対応いただくことが多く、とても気に入っておりました。

今年も例年通り、スキーを楽しんだのですが、帰る直前にスノーボードの板の盗難にあいました。スノーボードの板はレンタルショップでかりたもので、間違って持っていかれたのかもしれないし、盗難なのかはわかりません。10分程目を離れた隙になくなっておりまして。現在も見つかっておりません。もしかしたら、誤って持って行ってしまった方が、気づかずに別のレンタルショップに返却する可能性もあるかなと思ったのですが、その場合、レンタルショップ同士で連携ができていなければ、誰も見つけることができません。

そこで思ったのですが、宿泊施設とレンタルショップで情報共有する仕組みはあるのでしょうか。もし無ければ、市の事業として取り組まれるのはいかがでしょうか。施設やレンタルショップ専用の情報共有サイト（アプリ）を作り、スキー板/ボードの板の紛失が起きた場合、またはお客様の板がなくなった場合等、そこに情報を投稿し、もし該当のスキー板/ボードが見つかった場合、そこで各施設の担当者が連絡をとりあい、板を引き渡せる仕組みがあればよいのではと思いました。

スキー客は南魚沼市の大切な財源かと思えます。スキー板やボードの紛失は顧客の管理責任といっても、スキー中にはトイレも行くし、少し休憩することもあり、必ず目を離してしまう時間はあるかと思えます。そして、繁忙期は思わず（故意ではない）取り違えもあれば、残念ながら盗難もあるかと思えます。紛失・盗難は事故のようなものかもしれませんが、一度そのような思いをした場所には、二度と行きたくないと思う人もいます。ましてや、観光で楽しみにしていた旅行中の盗難・紛失のショックはかなり大きく、トラウマになる人もいます。

南魚沼市には、施設連携システムがあり、板のとり間違いが起きても各施設の連携で捜索ができるとなれば、観光客も安心

してスキーを楽しめるのではないのでしょうか。ご検討いただけますと幸いです。

(令和 5 年 2 月 14 日)

【お返事】

このたびは、スキー場利用の際のレンタル品情報共有の方法につきまして、ご意見・ご提言をいただき大変ありがとうございます。

スキー板、スノーボードの取り違いや紛失、または盗難に遭われるなどの問題は、全国の各スキー場で起こっておりますが、宿泊施設やレンタルショップなど事業者ごとに対応は様々のようです。

現状では、個人の皆様がキーロック付きのワイヤーをご用意いただくなど、自衛を講じていただくことに留まっています。近年は、盗難防止としてスマートフォンと連携してある程度離れるとアラートが鳴り、GPSで追跡ができるような新しい商品が開発されているようです。

いただいたご提言につきましては、宿泊施設やレンタルショップ等それぞれ民間事業者が競合しながら経営していることから、市の事業として情報共有の仕組みを構築することは非常に難しいと考えています。この度は貴重なご意見として承り、当市がスキー観光地としてお客様からさらに信頼していただけるよう、今後も市のスキー産業のより良い発展に繋がるよう努めてまいります。

(担当：商工観光課)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇mobi（モビ）の実証実験について

【ご意見・ご提案など】

日経スペシャルガイアの夜明けで紹介された mobi がすごく便利で、私たち年寄りには欠かせない足になってくれると思いました。

高齢化の進む町で私のように一人暮らしの人にはすごくマッチしたサービスだと思います。こういった気軽に使えて便利なサービスは使わない手はないと思います。こういったサービスがあれば皆が安心して楽しく暮らせる街になっていくと思います。素敵な町づくりに期待しております。是非ともお願い申し上げます。

（令和 5 年 2 月 26 日）

【お返事】

m o b i（モビ）はタクシーとバスの中間のような相乗り定額サービスで、スマートフォンの専用アプリなどから利用予約を行います。また運行対象範囲を半径 2 キロメートルとし、決まったダイヤやルートはなく、希望した乗降地点に応じて A I（人工知能）がルートを決定する仕組みとなっています。

一方で、当市の公共交通の利用者は高齢者が多く、アプリ活用などに抵抗感を持つ方が多いことや、半径 2 キロメートル内では多くの利用が見込めないことが推測されます。また、m o b i に対応する A I を備えたシステムの導入やシステム維持にかかる人件費等には多額の経費が必要となることから、現状では市での導入は困難であると考えています。

市では、移動手段を持たない方の日常生活の足を確保し、交通空白地域を解消するため、定期路線市民バスを運行しています。また、一部の市民バス路線では予約に応じて自宅から目的地まで運行する「デマンド交通」の導入に向けた検討を行っているところです。今後は、このデマンド交通が他の路線に拡大が可能か検討を図り、市民の皆さんが求める公共交通の運行形態となるよう、引き続き見直しを進めていきたいと考えています。

（担当：都市計画課）

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658